

令和元年 10 月 8 日

第 4 回郡山市廃棄物減量等推進審議会 資料 2

中間答申書（素案）からの修正等について

令和元年 8 月 20 日開催の第 3 回審議会において提示した中間答申（素案）について、委員から意見のあった項目は◆とし、事務局での見直し項目を◇とした。

p.2【目次】

- ◆意見 「【3 有料化の仕組みについて】【4 有料化導入にあたっての留意事項について】の表記について、それぞれ有料化の前に「粗大ごみ」を加えたほうが理解し易い。」
⇒目次及び本文中の見出しについて、それぞれ修正した。

- ◇大見出しに「粗大ごみ」を加えたことから、【3】（5）の見出しから「粗大ごみ」を削除し、「クリーンセンターへ」に修正した。（本文中も同様）
- ◇「郡山市廃棄物減量等推進審議会委員」の見出しを追加した。
- ◇目次中のページ表記については、p. 3 以降の削除部分の調整後のページとした。

p.3【1 はじめに】

- ◆意見 「ごみの排出量、処理費用の数値を掲載すると理解しやすくなるのではないか。」
⇒ 排出量の数値については、
p.6 **データ 4** 郡山市の生活系ごみ排出量と粗大ごみ排出量の推移
にて掲載あり。処理費用の数値については、
p.4 **データ 1** に郡山市ごみ処理費用の推移
を追加した。
- ◆意見 「本文中にある、まちづくりネットモニターについて、アンケート結果のデータを掲載してはどうか。」
⇒ p.5 **データ 2** 『ごみの減量及びごみ処理費用の適正化について』のアンケート結果を追加した。

◇中段の言い回しについて、本市の現状についての確認項目を箇条書きする形でなく、より文章的に分かりやすい表現に修正した。

p.5【2 審議事項に係る意見について】

◆意見 「粗大ごみ処理手数料を有料化するにあたり、明確な理由付けを加えるべきでないか。」

◆意見 「有料化導入による郡山市民のメリットをアピールしてはどうか。」

◆意見 「現在は認知度が低い『SDGs』ですが、審議会での取り組みに係る一文を入れることにより、今後市民が『SDGs』に興味を持ち、理解するきっかけとなるのではないか。」

⇒ p.7 **データ5** 郡山のごみの内訳とごみ量全体に占める粗大ごみの割合を追加し、市全体のごみと粗大ごみの量の割合を示すことで、有料化の理由付けをより明確化した。
ごみの減量化が進むことにより市民にもたらすメリット、さらに、その取り組みがSDGsに繋がる旨を追加修正した。

p.7【3 粗大ごみ有料化の仕組みについて】

(1)費用負担割合

◆意見 「50%とすべきの部分は、何に対しての50%なのか説明が足りないのではないか。収集運搬及び処理手数料の50%といった表記をしてはどうか。」

◆意見 「会議資料に掲載の「収集運搬処理費用 48,618 千円」の50%といった表記のほうが分かりやすいのではないか。」

⇒ p.7 **データ6** 粗大ごみ収集及び処理費用に対する利用者の費用負担割合についてを追加し、本文においても有料化の仕組みが明確になるよう修正した。

p.8【4 粗大ごみ有料化導入にあたっての留意事項について】

(2)市民への周知

◇p.9 **データ7** 生活系ごみの組成調査結果

を追加し、生活系ごみの現在の分別状況を示すことで、各家庭において更なる分別の必要性を強調した。

(その他)

◆意見 「手数料の収入を何に使うのか、用途を明記してはどうか。」

⇒ p.9 (4)手数料収入の用途

の項目を追加し、手数料収入については清掃費用やごみの減量化、環境関連の費用として扱うべきという表現を追加した。(目次 4(4)小見出しを同様に追加)

◆意見 「高齢者や障がい者の場合、粗大ごみを持ち運びするのが大変との話もあるがどうか。」

⇒ p.10 (5)高齢者や障がい者等への配慮

の項目を追加し、粗大ごみの取扱いが困難な高齢者等の一助となるような対策を検討すべきという表現を追加した。(目次 4(5)小見出しを同様に追加)

p.10【5 今後の審議について】

◆意見 「『2年後を目途に最終答申』という表現が、分かりづらい。」

⇒2年後には有料化導入か否かという、答申の選択肢が二つしかないと誤解されないよう表現を修正した。

◇今後の予定について、p.11「適正負担導入に係る制度設計」と「分別の徹底及び違反ごみ等への対応」さらに「粗大ごみの有料化導入」による、検証結果からの制度見直しや施策の反映などの関係を分かりやすくイメージできるよう修正した。

【その他全体】

◇元号表記には、()書きで西暦を併記。

◇各項目修正後、改めて文章全体のバランスを考慮し、細かい表現等について加筆修正。